

アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド (米ドルコース)

追加型投信／海外／債券

第14 作成期

第76期 (決算日 2020年5月8日)

第77期 (決算日 2020年6月8日)

第78期 (決算日 2020年7月8日)

第79期 (決算日 2020年8月11日)

第80期 (決算日 2020年9月8日)

第81期 (決算日 2020年10月8日)

作成対象期間 (2020年4月9日～2020年10月8日)

第81期末 (2020年10月8日)	
基準価額	5,221円
純資産総額	13,890百万円
第76期～第81期	
騰落率	8.2%
分配金 (税込み) 合計	420円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、欧州のハイイールド債を主要投資対象とするユーロ売り／米ドル買いの為替取引を行う、「ストラクチャラ-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH5シェアクラス、米ドル)」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、「CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)」への投資も行います。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」(当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」) をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書 (全体版) をクリック

※ホームページ掲載日より5年間は閲覧いただけます。

- 運用報告書 (全体版) は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

<お問い合わせ先>

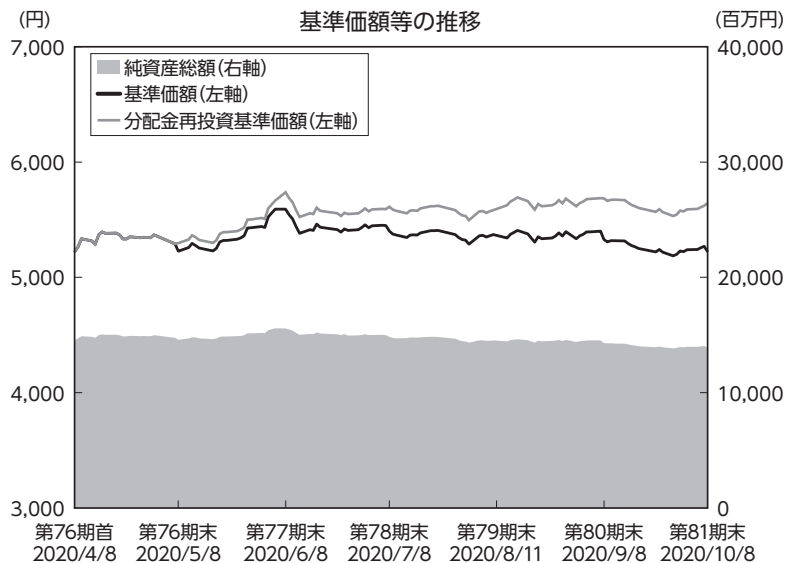
お客様サポートライン 0120-202-900 (フリーダイヤル)
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス: <https://www.amundi.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

第76期首	5,218円
第81期末	5,221円
既払分配金 (税込み)	420円
騰落率	8.2% (分配金再投資ベース)

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2020年4月8日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ① 作成期初から各国・地域の中央銀行や政府による大規模な量的緩和や財政措置が強力な下支えとなり、クレジット・スプレッド（国債との利回り格差）が縮小したこと
- ② 発表された経済指標が景気回復の初期兆候を示していたため、市場の信頼感が高まり、7月以降もクレジット・スプレッドの縮小が継続したこと
- ③ 7月下旬から発表された米国企業の第2四半期の決算が予想を上回る結果となり、クレジット・スプレッドが縮小したこと
- ④ ユーロ売り／米ドル買いの為替取引により、プレミアム（金利差相当分の収益）を得たこと

下落要因

- ① 9月に入り欧州を中心に新型コロナウイルスの感染者数が再び増加し、新たな制限措置が実施され、景気回復の重しとなり、クレジット・スプレッドが拡大したこと
- ② 9月に米国で新たな財政支援策の予算化措置に関する政党間の合意が得られず、欧州では7,500億ユーロの復興計画の実施が遅れるリスクが浮上したこと
- ③ 9月以降、11月に実施される米国大統領選挙をめぐる不確実性が高まったため、リスク資産の下押し要因となったこと
- ④ 為替市場において、当作成期は米ドル安・円高となったこと

1万口当たりの費用明細

項目	第76期～第81期 (2020年4月9日 ～2020年10月8日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	30円 (8) (21) (1)	0.557% (0.154) (0.386) (0.017)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用) (印刷費用) (その他)	0 (0) (0) (0)	0.008 (0.005) (0.002) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	30	0.565	
期中の平均基準価額は5,342円です。			

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

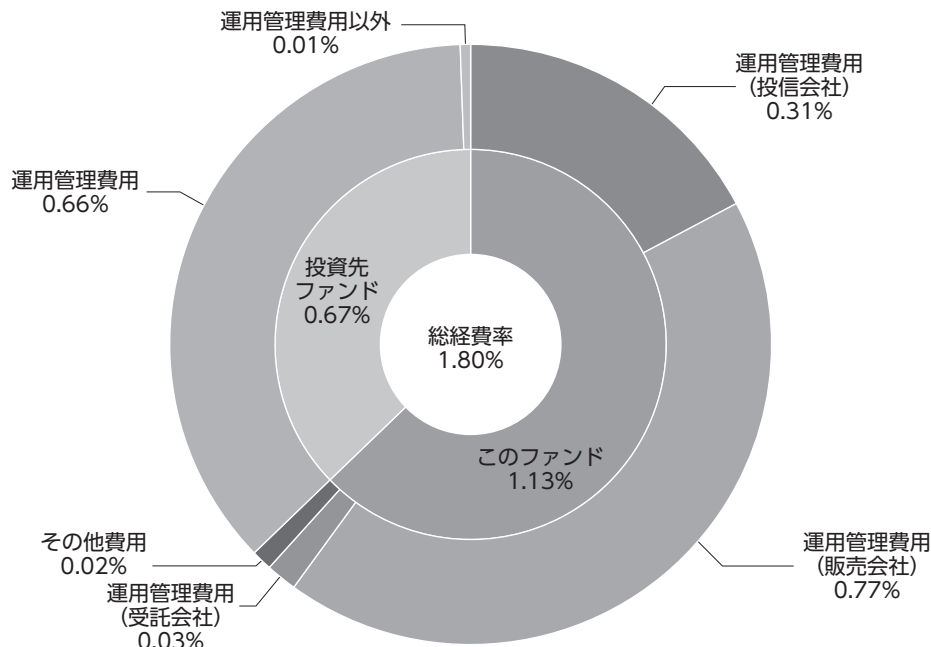
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

● 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.80%です。



総経費率 (①+②+③)	1.80%
①このファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.66%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

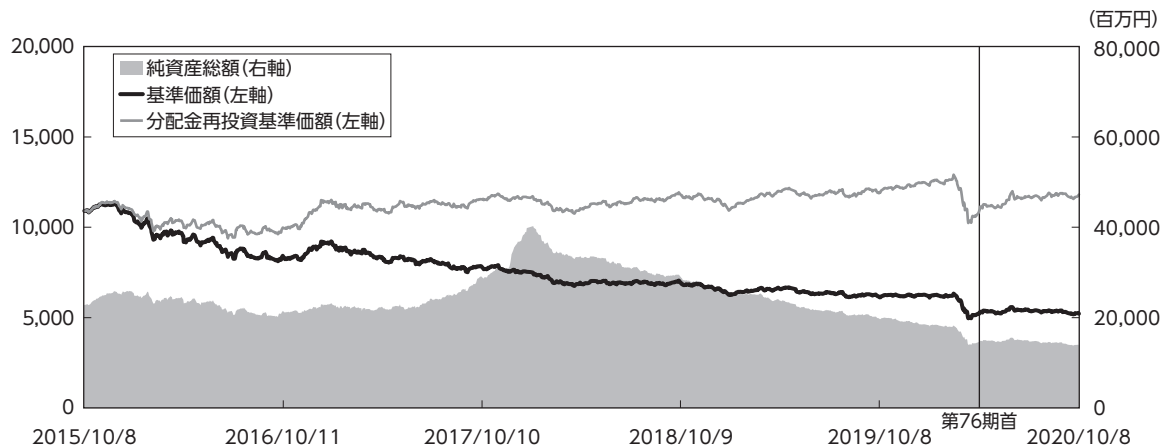
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年10月8日～2020年10月8日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2015年10月8日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2015/10/8 期首	2016/10/11 決算日	2017/10/10 決算日	2018/10/9 決算日	2019/10/8 決算日	2020/10/8 決算日
基準価額(円)	10,910	8,240	7,713	6,881	6,136	5,221
期間分配金合計(税込み)(円)	—	1,740	1,800	940	840	840
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	-8.9	16.3	1.7	1.6	-1.2
純資産総額(百万円)	22,774	21,078	28,695	28,795	19,699	13,890

(注) 運用成果の目標基準となるベンチマークおよび運用方針に対し適切に比較できる参考指数はありません。

投資環境

〈欧州ハイイールド債券市場〉

作成期初は、社債市場をはじめとする金融市場のほとんどの資産が第1四半期の損失を挽回する動きとなりました。欧州各国で実施されたロックダウン（都市封鎖）政策の景気への悪影響の度合いが不透明ではあったものの、新型コロナウイルスの感染拡大が世界各地で鎮静化する兆しがみられ始めたため、市場は一息つきました。また、各国・地域の中央銀行や政府による大規模な量的緩和や財政措置も強力な下支えとなりました。全体的な投資家のセンチメントは改善し、リスク資産全般に追い風となりました。高ベータ債は6月末までに損失の大半を取り戻し、クレジット・スプレッドは全体的に大幅に縮小しました。夏場は、強力なテクニカル要因や良好な経済指標がけん引役となり、クレジット・スプレッドは全体的に縮小しました。9月末には、新型コロナウイルスの感染者数の急増を抑制するために世界各国の政府が再び対策を強化したことや、景気に悪影響を与える新たなロックダウン措置が実施される可能性があること、そして米国の大統領選挙や米中貿易摩擦の再燃が市場の懸念を強めたことが背景となり、クレジット・スプレッドのほぼ直線的な縮小傾向は一時的に休止しました。当作成期、ハイイールド債市場のクレジット・スプレッドは大幅に縮小し市場は上昇しました。

〈為替市場〉

当作成期、米ドル／円相場は108円台で始まり、経済活動再開を探る動きに対し、景気先行き期待と新型コロナウイルスの感染拡大の不安が交錯し、5月には106円前後まで米ドル安・円高が進みました。6月には109円台まで米ドル高・円安が進んだものの、その後は107円を挟んだ動きとなりました。7月後半には景気回復が遅れるとの不安が台頭したことや、米中对立の激化などから下落傾向を強め、104円台となりました。8月には基軸通貨としての米ドル買いが再燃し一時107円付近となった後、9月に入り景気先行き期待が後退し、リスク回避志向が強まり円が買われる展開となると一時105円を割り込む場面もあったものの、106円台で当作成期末を迎えました。

〈日本の短期国債市場〉

当作成期の短期国債市場では、日銀によるマイナス金利政策のもと、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは新型コロナウイルス感染拡大の市場混乱により-0.16%前後の低い水準で始まりました。9月末には、年末越えの担保需要や海外勢の買い需要から、利回りは低下しました。作成期末にかけては、海外勢の買い需要が後退したことから、利回りは再び上昇に転じ、-0.14%前後の水準で作成期末を迎えました。

ポートフォリオ 〈当ファンド〉

当ファンドは、主として欧州のハイイールド債に投資しユーロの為替リスクを米ドルの為替リスクに変換した投資信託証券（「ストラクチャー欧州ハイ・イールド・ボンド（IH5シェアクラス、米ドル）」）を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。当該投資信託証券への投資比率は高位を維持しました。なお、円建の国内籍投資信託「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

〈ストラクチャー欧州ハイ・イールド・ボンド（IH5シェアクラス、米ドル）〉

当ファンドでは前作成期末にレジャー、輸送などの新型コロナウイルスの影響が大きいセクター、景気後退の影響が大きいセクターへのエクスポージャーを引き下げていたことが作成期初プラスに働きました。その後は景気回復が少しずつ明らかになってくるなか、ディフェンシブな銘柄選択を行っていたため、市場回復の恩恵は限定的なものとなりました。6月以降、金融セクターの劣後債、景気循環銘柄の組入れを高めたことがプラスに働きました。作成期末時点で当ファンドは欧州ハイイールド債に対する前向きな姿勢を反映し、中立程度のベータとしています。

（アムンディ・アセットマネジメント）

実質的なユーロ建資産に対し、ユーロ売り／米ドル買いの為替取引を行い、当作成期を通じて米ドルのエクスポージャーをおおむね100%に維持しました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

〈CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）〉

当作成期、主として12ヵ月以内に償還を迎える地方債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期
	(2020年4月9日 ～2020年5月8日)	(2020年5月9日 ～2020年6月8日)	(2020年6月9日 ～2020年7月8日)	(2020年7月9日 ～2020年8月11日)	(2020年8月12日 ～2020年9月8日)	(2020年9月9日 ～2020年10月8日)
当期分配金	70	70	70	70	70	70
(対基準価額比率)	(1.322%)	(1.237%)	(1.280%)	(1.293%)	(1.297%)	(1.323%)
当期の収益	70	70	70	70	70	70
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	1,786	1,829	1,868	1,906	1,946	1,986

- ・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- ・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

〈当ファンド〉

当ファンドが投資する「ストラクチャル－欧州ハイ・イールド・ボンド（IH5シェアクラス、米ドル）」の組入比率を引き続き高位に保ちます。なお、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」への投資も行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈ストラクチャル－欧州ハイ・イールド・ボンド（IH5シェアクラス、米ドル）〉

当面、クレジットに引き続きポジティブな見方をしています。4月以降のクレジット・スプレッドの縮小傾向をみると、これまでと同様に、年末まではファンダメンタルズ（基礎的条件）よりもテクニカル要因がクレジット・スプレッドをけん引するとみています。発行市場での起債が活発だったにもかかわらず、投資家のクレジットに対する投資意欲は衰えませんでした。10月の決算発表を控え、新規発行額の減少が予想され、流通市場でのクレジット・スプレッドの縮小が見込まれます。ECB（欧州中央銀行）の様々な緩和策によって良好な資金調達環境が続いており、ファンダメンタルズにとって引き続き追い風になると思われます。バリュエーションは、国債利回りの低い環境が長引くなか、ハイイールド社債の高い利回りに積極的な見方をしています。

(アムンディ・アセットマネジメント)

今後もファンドの基本方針に従い、引き続き実質的なユーロ建資産に対し、ユーロ売り／米ドル買いの為替取引を継続いたします。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）〉

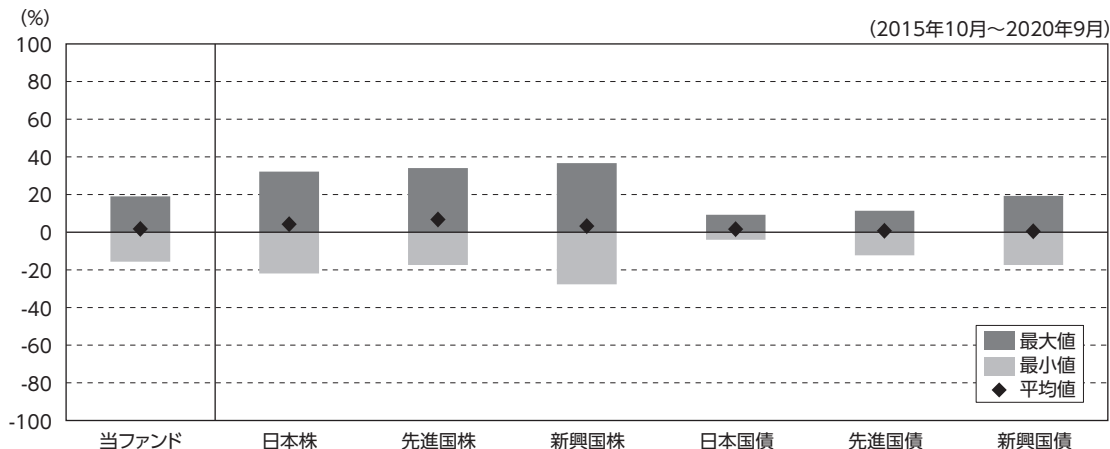
安全性重視の観点から、12ヵ月以内に償還を迎える債券への投資により安定的な運用を行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2014年1月14日から2026年4月8日までです。	
運用方針	欧州のハイイールド債を主要投資対象とするユーロ売り／米ドル買いの為替取引を行う、「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH5シェアクラス、米ドル）」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。なお、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」への投資も行います。	
主要投資対象	アムンディ・欧州ハイ・イールド債券ファンド(米ドルコース)	ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH5シェアクラス、米ドル) CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)
	ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH5シェアクラス、米ドル)	欧州のハイイールド債
	CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)	本邦通貨表示の短期公社債
運用方法	<p>① 欧州のハイイールド債を主要投資対象とするユーロ売り／米ドル買いの為替取引を行う、「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH5シェアクラス、米ドル）」を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な投資信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>② 「ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド（IH5シェアクラス、米ドル）」への投資比率は、原則として投資信託財産の純資産総額の90%以上とすることを基本とします。</p>	
分配方針	毎決算時（年12回、原則毎月8日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	1.6	4.2	6.6	3.1	1.6	0.7	0.5
最大値	19.0	32.2	34.1	36.7	9.3	11.4	19.3
最小値	-15.7	-22.0	-17.5	-27.7	-4.0	-12.3	-17.4

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2015年10月から2020年9月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 組入ファンド

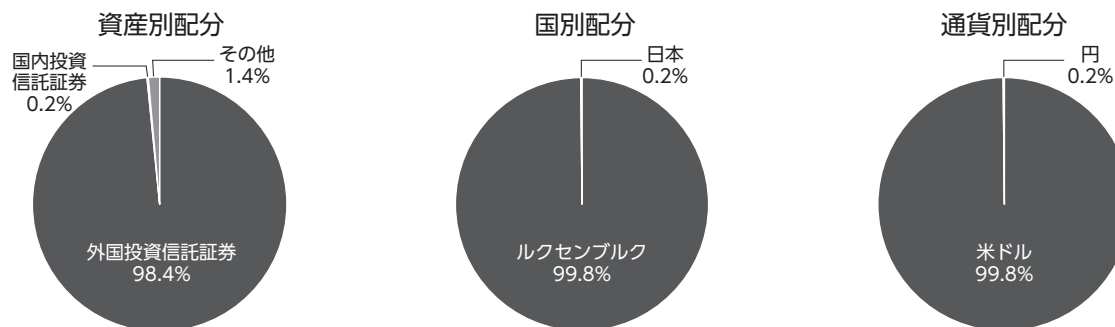
2020年10月8日現在
(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	通貨	比率
1	ストラクチャル-欧州ハイ・イールド・ボンド (IH 5シェアクラス、米ドル)	米ドル	98.4%
2	CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)	円	0.2%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第76期末 2020年5月8日	第77期末 2020年6月8日	第78期末 2020年7月8日	第79期末 2020年8月11日	第80期末 2020年9月8日	第81期末 2020年10月8日
純資産総額	14,582,658,139円	15,562,265,777円	14,830,330,790円	14,441,758,523円	14,300,020,255円	13,890,556,602円
受益権総口数	27,896,172,842口	27,834,904,444口	27,465,579,048口	27,033,685,802口	26,839,146,562口	26,605,940,754口
1万口当たり基準価額	5,227円	5,591円	5,400円	5,342円	5,328円	5,221円

※当作成期間 (第76期～第81期) 中における追加設定元本額は1,281,507,229円、同解約元本額は2,530,452,912円です。

組入ファンドの概要

<ストラクチュラ-欧州ハイ・イールド・ボンド>

決算日：2019年12月31日

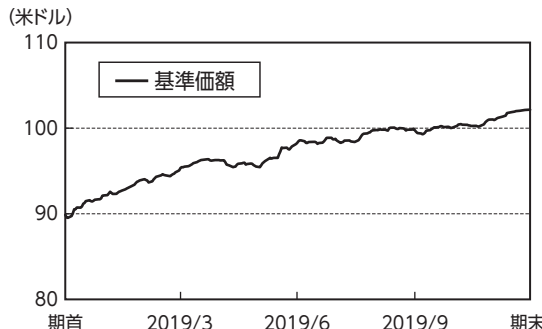
(計算期間：2019年1月1日～2019年12月31日)

「基準価額の推移」は（IH5シェアクラス、米ドル）の内容ですが、他の開示情報につきましては、他のシェアクラスを含むファンド全体の内容を掲載しております。

基準価額の推移（IH5シェアクラス、米ドル）組入上位10銘柄

2019年12月31日現在

(組入銘柄数：315銘柄)



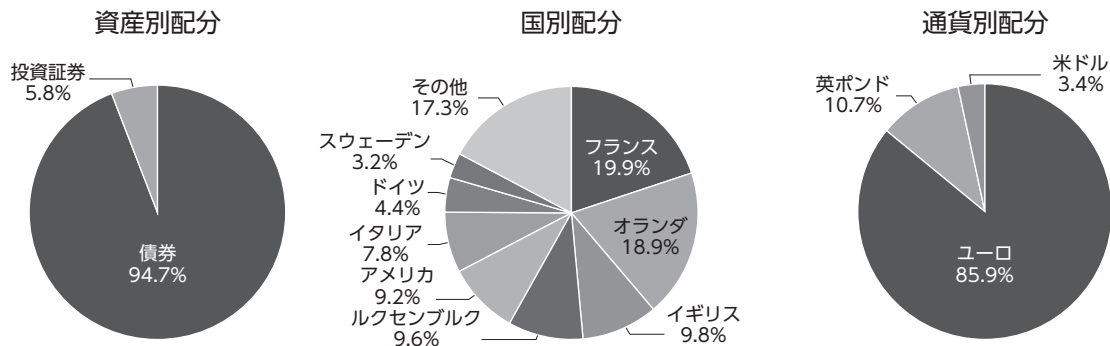
	銘柄	通貨	発行国	比率
1	AMUNDI 3 MI (C)	ユーロ	フランス	3.2%
2	AMUNDI TRESO CT C 3D -C- CAP 3 DEC	ユーロ	フランス	2.6%
3	ALTICE LUXEMBOURG SA 8.00 19-27 15/05S	ユーロ	ルクセンブルク	1.1%
4	TELEFONICA EURO FL.R 19	ユーロ	オランダ	1.1%
5	TIM SPA 4.0 19-24 11/04A	ユーロ	イタリア	1.0%
6	TELECOM ITALIA SPA 5.875 07-23 19/05A	英ポンド	イタリア	0.9%
7	REPSOL INTL FINANCE FLR 15-75 25/03A	ユーロ	オランダ	0.9%
8	ENERGIAS DE POR FLR 19-79 30/04A	ユーロ	ポルトガル	0.9%
9	VERISURE MIDHOLDING 5.75 17-23 01/12S	ユーロ	スウェーデン	0.8%
10	NETFLIX INC 3.625 17-27 05/02S	ユーロ	アメリカ	0.8%

(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 直接投資しているのはファンド（受益権）ですが、その先の投資資産を表示しております。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

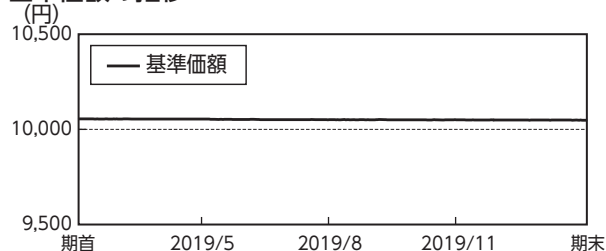
組入ファンドの概要

<CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)>

第13期 決算日：2020年2月17日

(計算期間：2019年2月16日～2020年2月17日)

基準価額の推移



組入銘柄

2020年2月17日現在

(組入銘柄数：3銘柄)

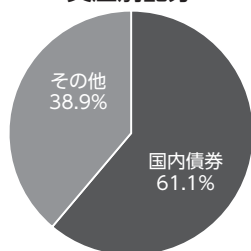
	銘柄	種別	比率
1	平成 22 年度第 1 回北海道公募公債	地方債	25.4%
2	第 174 回神奈川県公募公債	地方債	22.9%
3	平成 22 年度第 1 回広島市公募公債	地方債	12.8%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

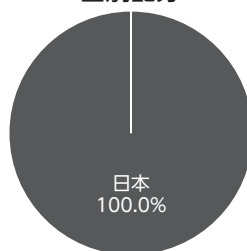
(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成

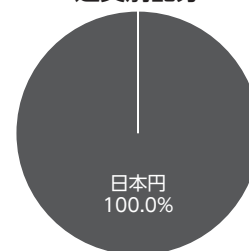
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

項 目	第13期 (2019年2月16日 ～2020年2月17日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	1円 (1) (0) (0)	0.011% (0.009) (0.001) (0.002)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.004 (0.004)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	1	0.015	

期中の平均基準価額は10,051円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、東京証券取引所第一部に上場している全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXの指数値およびTOPIXの商標は東京証券取引所の知的財産であり、同指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は、東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有します。

• MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。

• FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント